

網野町海浜漂着プラスチックの調査・清掃活動

大谷大学 社会学部 コミュニティデザイン学科
プロジェクト研究実践・鈴木寿志ゼミ

京丹後市網野町小浜での清掃活動



課題設定

1. 大型プラごみを埋め立てずに役立てる
2. マイクロプラスチックを回収する

軟質・硬質プラスチックに分けて清掃活動



京都環境保全公社（京都市伏見区）に搬入



検査の結果、硬質プラスチックを破砕して、サーマルリサイクルへ

京丹後市で埋め立て処分されていたごみが、サーマルリサイクルにより、電気エネルギーに変換された。

大量のマイクロプラスチックをどうすればいい？



1. 浮遊型マイクロプラスチック除去装置

網ですくってマイクロプラスチックを回収

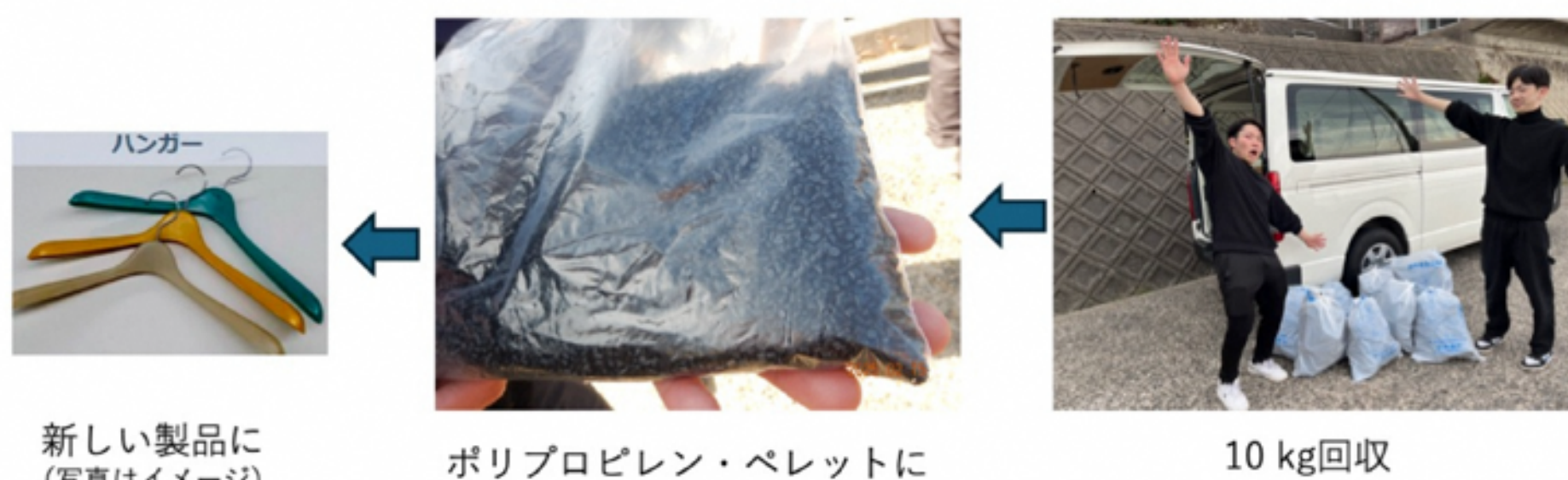
間隙水塩分濃度0.05~0.08%まで低下、焼却ごみとして処分可能か？

2. ふるい型マイクロプラスチック除去装置



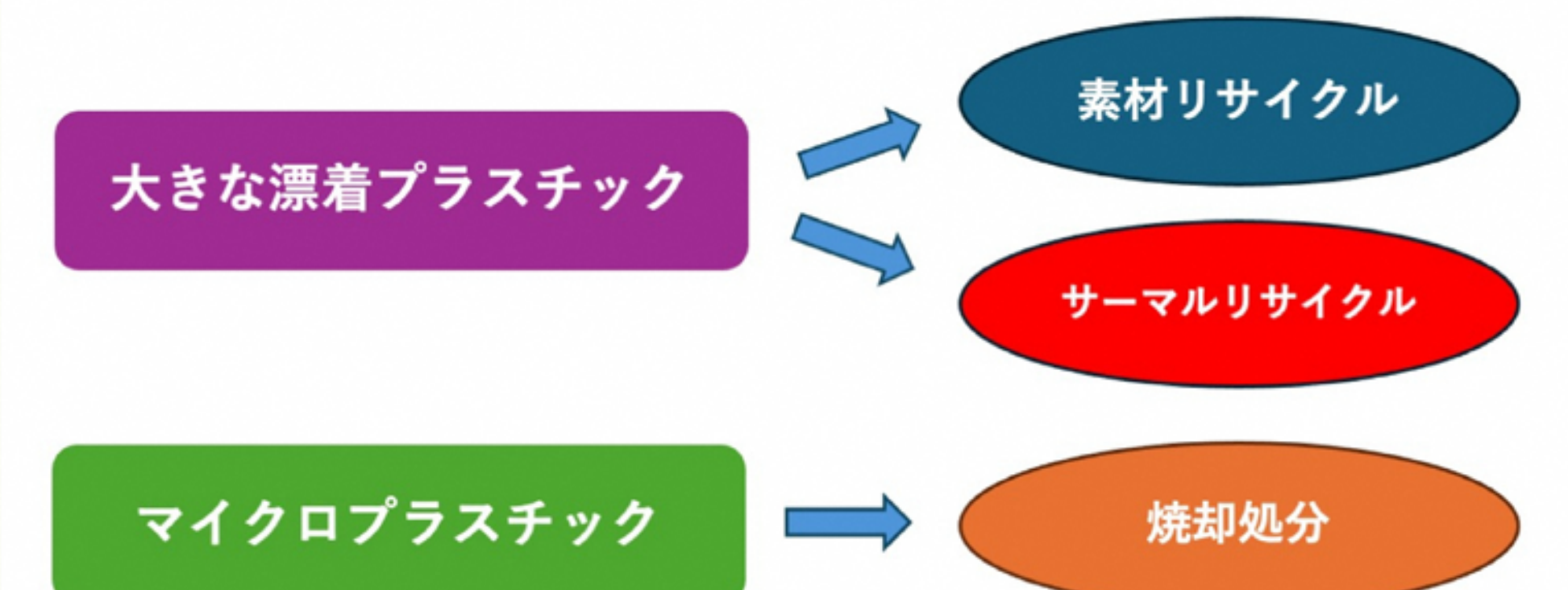
素材リサイクルができないか？

- ・漂着物の中で、同質素材の漂着プラスチックに着目
- ・アナゴつつみの返しを回収し、素材リサイクルを模索（商品化）



大谷大学の地域連携活動 網野町海浜漂着プラスチックの調査・清掃活動

2024年度 まとめ



京丹後市で埋め立て処分されていたプラごみを、埋め立てずにリサイクル・焼却処分することが可能になった。